

Spiral Array® スパイラルアレイ

ドナーブロックに穴をあけることなく
組織アレイを作製。

こんなことに悩んだら、
\\ スパイラルアレイにおまかせください /

ドナーブロックに穴をあけることができない…

お任せください

100 μm厚の薄切切片をロールし、断面を観察するため、ブロックに穴が開きません。従来のアレイと比較し広い範囲の組織をカバーすることができます。

アレイにしたいけど、広域の組織を見たい。

お任せください

より広域の組織を観察することができるため、従来のアレイと比べて組織Heterogeneityをカバーします。

ドナーブロックの持ち出しができない…

お任せください

お客様の方で100 μm厚の薄切切片を作成、送付いただければブロックの持ち出しなく弊社でスパイラルアレイを作製することが可能です。※弊社商品のBioBank KITを使用した薄切が必要。

Spiral Array®作製手順



Spiral Array®のメリット

スパイラルアレイの研究論文

Spiral array: a new high-throughput technology covers tissue heterogeneity.
Junya Fukuoka et al. Arch Pathol Lab Med 2012 Nov;136(11):1377-84.
<https://doi.org/10.5858/arpa.2011-0393-OA>

メリットその1

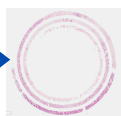
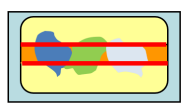
大切なドナーブロックに穴を開けずにアレイを作製することができます！！

100μm厚切りの切片からアレイを作製するのでドナーブロックへの穴あきダメージはありません



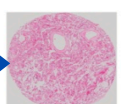
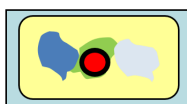
メリットその2

組織のHeterogeneityをカバーします



スパイラルアレイによる作製方法

ドナーブロックの広い範囲の組織をカバーできます。



従来のアレイによる作製方法

大径コア（直径3mm）でも、組織の一部のエリアのサンプリングとなります。

パソロジー研究所



〒930-0871富山市下野16新産業支援センター305 ☎076-411-8088

Spiral Array®作製のお問い合わせはこちらから



Spiral Array®スパイラルアレイブロックご依頼の流れ

ご希望のSAブロックの内容を発注書にてお知らせください。

Spiral Array®ブロックご依頼時の送付物について

ドナーブロックの 持ち出しが可能な場合


パソロジー研究所に下記をお送りください

- ・ドナーブロック
- ・ドナーブロックのHEスライド(カット位置、ロール向き記入済)
- ・マップ、検体リスト(エクセルデータ)

ドナーブロックの 持ち出しができない場合

パソロジー研究所に下記をお送りください

- ・100 μm厚の薄切切片 ※弊社商品のBioBank KITを使用
- ・ドナーブロックのHEスライド(カット位置、ロール向き記入済)
- ・マップ、検体リスト(エクセルデータ)

ご注意 

現状のブロックの組織面でカット位置の選定をするために、HEスライドは必ず最新のブロックから作製してご提供ください。

パソロジー研究所でSAブロックを作製し、
SAブロックを納品、ドナーブロック等をご返却いたします。

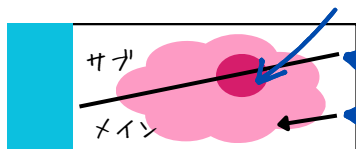
完成したSAブロックのHEスライドは1枚サービスでお付けいたします。



SAブロック写真

スライドのカット位置、ロール向きの記入について

アレイにしたい(観察したい)部分



ご依頼の際には左図を参考に染色済みHEスライドなどに直接マジック等で
「カット位置」直線で記入
「ロール向き」矢印で記入
SAにしたい方に「メイン」の記入
サブブロックをご希望の場合は「サブ」の記入をお願いいたします。

メインコアブロック・サブコアブロックについて

基本的にはメインコアブロックのみの作製ですが、
ご希望があれば、サブコアのブロックも作製いたします。 ※別途費用発生

※1ブロックに20コアまで入れることが可能
Xenium対応(10.45mm×22.45mmの範囲)のSAは8コアまで

切片を機械でロール状にする

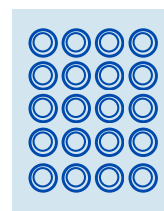
観察したい箇所でもカット

メインコア

サブコア



メインブロック



サブブロック

メインと同じマップのサブブロックができます。

